

サトイモ産地は必須！ 「土入れ」・「セル苗増殖」技術

農林水産研究所

◆全期マルチ栽培における土入れ

現在、サトイモのマルチ除去、土寄せ、追肥を省略する全期マルチ栽培が定着しており、さらに、近年、芋の良好な肥大促進による収量や品質向上のためにマルチの上へ覆土する**土入れ**が欠かせない技術となっています。

1株当たり芋重量

	子芋重 (g)	孫芋重 (g)	左のうち 秀品芋 重 (g)	子・孫芋 重 (g)
土入れ区	517	1,213	873	1,730
無処理区	493	1,027	647	1,520



ハイクリアランス
仕様トラクターで
マルチ上に**土入れ**

一貫作業機に
よるうね立て



◆親芋の副芽を利用した優良種苗の増殖

通常は利用しないサトイモの親芋の副芽からセル苗を作ることにより、**大量の優良種苗を増殖**できます。



▲頂芽、腋芽を除去した親芋を温度27～30℃、湿度100%で副芽を萌芽させる。



▲芽が1cm程度以上になれば肉部を付けて切り出す。



▲セルトレイに移植し1か月以上育苗後、本圃に定植。

